

茨城県立こども病院を受診された方へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	B型肝炎ワクチン定期接種開始化後の小児における B型肝炎ウイルス感染およびワクチン接種についての調査
当院の研究責任者	須磨崎 亮
他研究機関および 各施設の研究責任者	本研究は筑波大学を代表施設とする多施設共同研究で以下の共同研究施設を含む。協力施設：茨城県立こども病院、日本大学医学部附属板橋病院、筑波メディカルセンター病院、大阪府急性期総合医療センター、神戸こども初期急病センター、静岡厚生病院、東京大学医学部附属病院
本研究の目的	2016年10月からすべての乳児を対象としてB型肝炎ワクチンの定期接種が開始されました。小児におけるB型肝炎ワクチン接種率、有効率(ワクチンを接種した人が十分な抗体価を獲得しているか)、得られた抗体の持続、感染率などをしらべることにより、どのようにワクチン接種や追加接種をすればよいか、どのように感染からお子さんを守るか、について検討します。
該当期間・対象者	2021年2月15日までに当院で採血検査をうけた0歳から15歳まで方
研究の方法	当院で診療の必要があつて採血された血液の残りがあり、同意が得られた方の血清を用いてHBs抗体(ワクチンや感染により得られる抗体)とHBc抗体(感染した場合に陽性になる抗体)を測定して、B型肝炎ワクチンの有効性や感染率を調べます。また、有効性や感染に関わる要因を調べるために、年齢、性別、ワクチン記録、採血日を確認します。輸血や血液製剤の使用をした方、B型肝炎で通院中の方、免疫不全の方は本研究の対象としないため、病名を確認します。
他機関への情報提供	臨床情報(年齢、性別、ワクチン歴)については、連結不可能匿名化の状態で東京大学および解析者と共有します(個人は特定されませんので結果の返却はできません)。残余検体はLSIメディエンスから一括して東京大学医科学研究所に送付され2027年3月31日まで保存され、必要時上記の追加検査を追加する。
個人情報の取り扱い	検体・情報は個人が特定されない匿名化処理を行います
利益相反	ありません
問い合わせ先	茨城県立こども病院 病院長 須磨崎 亮
備考	